

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、水や食料などの備蓄は法人(恵生会)にて確保しているが、当施設としての備蓄はしていない現状である。	当施設として、3日分の水と食料などの備蓄準備できる。	水に関しては黒須病院のタンクからの配給とする。 食料などは保存食を3日分保管する。	12ヶ月
2	35	洪水時の避難場所が明確でない。	火災・地震と別に、洪水時の小高い第一避難場所の設定ができる。	法人と共に検討し、安全に小高い避難場所の確保ができるようにする。 (前回の洪水のデータを参考に高さを検討し決めていく)	12ヶ月
3	35	火災報知機の機器操作が不十分である。	職員全員がスムーズに機器操作ができる。	毎月2名ずつ火災報知機の機器操作の実施訓練を行い、職員全員が戸惑うことなく機器操作できるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。